

【通し番号】 2024003

【目次（分野別）】 その他

集団健康管理を成功させるには：スコーピングレビュー

How to successfully implement population health management: a scoping review

【著者】 A. F. T. M. van Ede, R. N. Minderhout, K. V. Stein, M. A. Bruijnzeels

【雑誌情報】 BMC Health Serv Res. 2023 Aug 25; 23: 910. 【DOI】 10.1186/s12913-023-09915-5.

【概要】

本論文は、集団健康管理（population health management：以下 PHM）の実施に関する文献を電子データベースを用いて、Context-Mechanism-Outcome（以下 CMO）¹⁾ 1、統合ケアのレインボーモデル²⁾ 2、PHM の 6 要素³⁾（説明責任のある地域組織、クロスドメインビジネスモデル、統合データインフラストラクチャ、労働力とコミュニティの共同設計、公衆衛生データ分析、双発的実装戦略）³⁾ から網羅的に調査し、構造化したものである。

上記の結果、531 件の論文が選択され、そのうち 11 件の研究を対象とした内容分析の結果、PHM の要素である、説明責任のある地域組織に関する項目が最も多く、次いでクロスドメインビジネスモデルと創発的実装戦略であったとしている。また、市民や専門家の視点はほとんど見られなかったとしている。これは、組織レベルでの活動による報告に偏っており、統合した臨床や専門家レベルについての報告が少ないといった現状を示しているとしている。

上記から、様々な利害関係者や組織との連携が PHM の次のステップに進むためのガイドとなる可能性を示唆し、PHM の推進者は多数の利害関係者との知識のギャップを認識し、規範的統合と市民の視点を考慮する必要があると述べている。しかし、実際には PHM の 6 つの要素に応じて、レベルごとに必要な CMO 項目の違いが検出されたが、現時点では詳細に言及できないことに加え、市民の視点を取り入れたより包括的なアプローチについての報告が待たれると結論付けている。

【解説】

本邦においても、政府が 2013 年にデータヘルス計画を打ち出している⁴⁾。これは診療報酬明細書や健康診断などの医療保険者が有する健康情報の有効活用を促し、伸び続ける医療費を保険者自らがコントロールすることを促す政策である⁵⁾。このデータヘルス計画は、広島県呉市（国民健康保険）が実施した事業を取り上げ、新たに施策としたものである⁶⁾。この基礎には、PHM の考え方があり、データヘルス

¹⁾ リアリストアプローチの方法論であり、複雑な介入や教育プログラムにおいて、その状況における作業仮説あるいは調査したい範囲を設定し、目的的に収集した定量的あるいは定性的データから、どのような条件（コンテキスト）で、どのような介入（機会または、リソースを含む）をすることで、どのようなメカニズムが機能するか、そこからどのような説明可能なアウトカムが記述できるかを探索・検証・洗練し、それを反復するものであるとされる。

²⁾ オランダにおける出生センターの類型学に関する分類であり、一次、二次および三次医療の境界を横断する、連続した医療を提供することであるとされる。

³⁾ ある集団をリスクアセスメントし、階層化することでその中から疾病に関しての介入方法を決定していくものであり、これを推進することで医療と介護の連携が飛躍的に進歩すると考えられている。

計画の展開にはこれを理解した上で、全被保険者を視野に入れた健康政策を打ち出す必要があるとされている⁷⁾。その後、データヘルス計画は、経済財政運営と改革の基本方針 2016 によって、働き盛り世代の健康増進と労働生産性の向上に寄与する仕組みとして位置付けられている⁸⁾。さらに、厚生労働省はデータヘルス計画と健康経営を車の両輪と比喻し、これらを総じて推進するコラボヘルスを提唱している⁹⁾。

これらより、我々が産業領域で活動するにあたって、対象とするのは労働者や労働環境等であり、そのアプローチ方法としては、ポピュレーションアプローチが主であると推測する。したがって、本研究で扱った、PHM の理論やデータヘルス計画などの周辺知識を用いた利害関係者や組織との連携が必要であることは想像に難くない。しかし、産業保健・健康経営における課題と理学療法士活躍の可能性に関する調査事業報告書¹⁰⁾では、理学療法士が産業保健チームへ関わるためには産業保健・産業衛生について理解するための教育が必要であると指摘がある。

以上から、今後はこれら知識の習得の場を創出していくことが必要であると考えられる。

【引用・参考文献】

- 1) Wong G, et al. RAMESES publication standards: realist syntheses. BMC Med. 2013; 11. DOI: 10.1186/1741-7015-11-21.
<file:///C:/Users/HARADA~1/AppData/Local/Temp/MicrosoftEdgeDownloads/bc6eb58a-20bb-416a-83c3-0e5e562876f4/1741-7015-11-21.pdf>
- 2) Valentijn PP, et al. Understanding integrated care: a comprehensive conceptual framework based on the integrative functions of primary care. Int J Integr Care. 2013; 13: e010. DOI: 10.5334/ijic.886.
<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3653278/>
- 3) Bruijnzeels MA. Population Health Management for Healthy Regions (PHM4HR). NWA-ORC 2020/21 Grant proposal; 2021.
<https://www.bmce.vde/wp-content/uploads/A1-Bruijnzeels-Marc-Population-Health-Management-BMCK24.pdf>
- 4) 内閣府. データヘルスの取組.
<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/wg1/280323/shiryoku2-7.pdf>
- 5) 厚生労働省. データヘルス計画作成の手引き.
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000069358.pdf>
- 6) 呉市保険年金課. 呉市国民健康保険保健事業の取り組み.
https://www.soumu.go.jp/main_content/000518778.pdf
- 7) 森山美知子. データヘルス計画：ポピュレーション・ヘルス・マネジメントの展開. 日本遠隔医療学会雑誌. 2015; 11: 25-29.
- 8) 井出博生, 他. 第 2 期データヘルス計画の中間評価を踏まえた第 3 期計画の展望. 健康保険. 2022; 8: 6-12.
- 9) 厚生労働省. データヘルス・健康経営を推進するためのコラボヘルスガイドライン.
<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000412467.pdf>
- 10) 日本理学療法士協会. 産業保健・健康経営における課題と理学療法士活躍の可能性に関する調査事業

報告書.

https://www.japanpt.or.jp/activity/asset/pdf/20240331_chousajigyou_houkokusho.pdf

【国際委員執筆者】

千葉大学 原田裕輔